

軍政下苦しい、助けて

ミャンマークーデターから4年

ミャンマーで国軍による軍事クーデターがおこって4年になる1日、在日ミャンマー人たちが、平和行進と同国大使館前集会を開きました。行進の参加者は460人。大使館前にも多くの人が駆けつけ、抗議の声やコール、歌などが続きました。

軍時クーデター後、武力弾

東京・渋谷で行進

圧が続き、6200人以上の市民が殺され、避難者は国内外に330万人以上にのぼります。

平和行進では「無差別空爆はやめろ」「暴力国軍を追い出せ」と日本語とビルマ語、英語で書かれたプラカードや、戦闘機におびえる子どもたちの姿を写した写真を掲げ



武力弾圧許さない、ミャンマー人らの平和行進。抵抗の意を表す3本の指をたてて行進する人も1日、東京都内

る人もいました。少数民族が多く住む地方の州の旗が何本も並び、にぎやかな隊列が東京・渋谷の繁華街を歩きました。メガホンで「ミャンマーを助けてください」「武力弾圧許さない」とコールが響きました。

平和行進を呼びかけた在日ビルマ市民労働組合のミンスイ会長は「日本のみなさんに、ぜひ日本政府や国連に圧力をかけ、ミャンマーの平和を取り戻すために協力してほしい」と訴えました。

平和行進に参加した女性(31)は「6年前に日本に来ました。ミャンマーにいる家族は都市部から逃れて避難しています。助けてほしい。軍事政権下で苦しんでいるミャンマーという国の存在を忘れないでほしい」と話しました。

日本人の大学生(20)は「日本政府は、ミャンマー国軍に加担することになるODA(政府開発援助)をやめるべきだ。戦争に加担したくない」と話します。「ウクライナでもガザでも虐殺が起こっている。反対の声をあげていきたい」と行進後、大使館前の集会にも参加しました。